

魚群情報速報事業（マグロ延縄漁業試験）

。中田 凱久・赤羽 光秋・天野 勝三

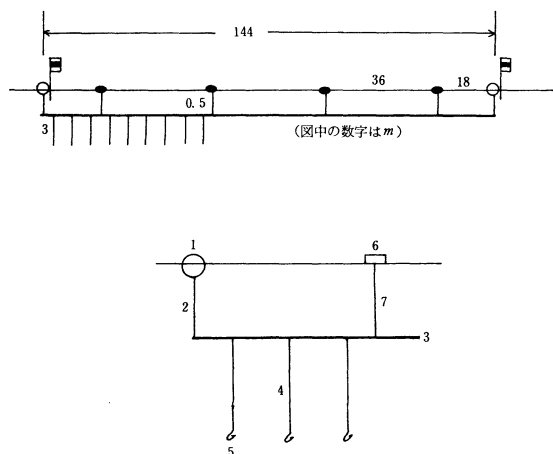
調 査 目 的

本県日本海の10トン未満漁船を対象とした。マグロ延縄漁業の企業性について検討し、沿岸小型漁船の経営安定に資する。

調 査 内 容

1. 調査期間 昭和58年 8 月
2. 調査海域 青森県日本海沖合
3. 調 査 船 試験船青鵬丸（56トン，250馬力）
4. 調査項目及び調査方法
 - (1) 漁 獲 試 験

図1に示したマグロ延縄漁具を使用して漁獲試験を実施した。使用鉢数は24本付3鉢である。また餌は、自動いかつり機によっていかつり操業を行い、それによって得られたスルメイカ活餌を使用した。



番号	名称	材 質	規 格	数 量
1	浮子	サイコラック CT-24M-2	φ 240 mm	2個
2	浮縄	テトロン 24本	φ 3.6 mm	8m
3	幹縄	クレモナ 8本	14本	144m
4	枝縄	ナイロンテグス	4号	3m
5	釣鉤	ひねり よりかん付	38号	24本
6	浮子	桐		4個
7	浮縄	クレモナ	5号	0.5m

図1 マグロ延縄漁具仕様図

(2) 漁 場 環 境

水深水温計（シーホース）を使用して，表面から100mまでの深さの水温測定を行った。

調 査 結 果

スルメイカ漁場調査のかたわら行ったもので，いかつり操業試験の方に重点が置かれ，8月2回のみの操業試験を行ったが，シイラが4尾漁獲されたのみでクロマグロ等他の漁類の漁獲は皆無であった。

操業時の水温は表面で21～22℃で，日本海北上期の漁獲水温は20℃前後とされているので，水温条件に問題はなかったと考えられる。

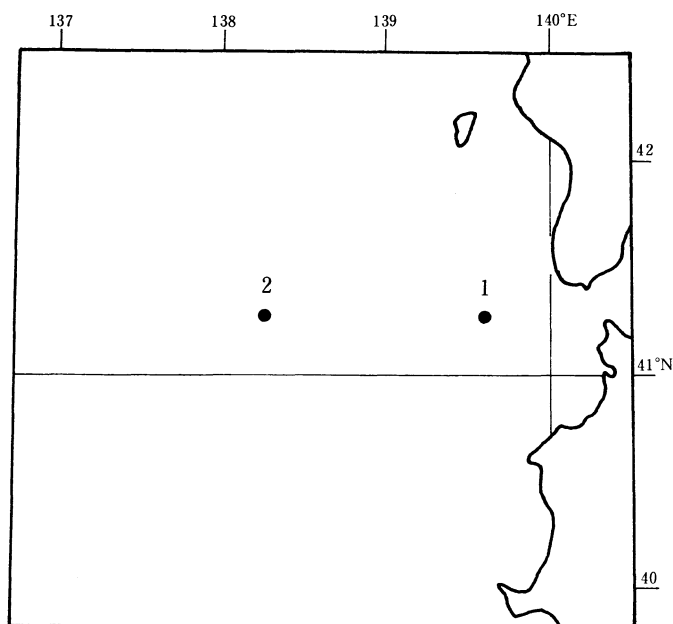


図2 マグロ延縄試験操業海域図

58年度マグロ延縄漁業試験操業結果表

操業 月日	操業時間	操 業 位 置	各 層 水 温 ℃							使用 鉢数	使用餌料	漁獲物
			0	10	20	30	50	100				
8. 6	03 : 00 05 : 15	N 41° 17′ E 139° 36′	22.9	22.8	21.5	18.0	15.1	11.5	3鉢	スルメイカ 活餌	シイラ 3尾	
8. 9	02 : 30 05 : 00	N 41° 16′ E 138° 15′	21.6	20.8	12.7	6.5	3.3	1.0	〃	〃	シイラ 1尾	